※令和５年度以降入学生用

学校番号	3028

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　公共（第一学習社）						
副教材等	高校社会へのステップ（東京書籍）、テーマ別資料　公共（東京法令出版） 4ステージ演習ノート（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自らの存在と他者や環境、社会の在り方との関係を様々な見地から学習します。
・学習の過程で新たな課題を発見したり、広い視野にたって物事を捉えなおしたりすることで、社会に貢献できる人材に必要な資質と能力を育成することがねらいです。
・日ごろから自分を取り巻く出来事に関心を寄せ、その背景や原因を追究していこうという姿勢が大切です。
・様々なことに興味を持って取り組んでください。
・特に報道は日々チェックし、その信ぴょう性も含めて様々な資料を活用するようにしましょう。

２　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動をとおして、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（２）現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

（３）よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

※令和５年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	公共の扉	個人の在り方や個人を取り巻く社会や文化、公共的な空間に関連する知識を整理し、自らの考えのもとになる概念を知る。	a:個人の在り方の変遷や社会を構成する要因を理解している。 b:個人の在り方や社会について様々な意見があることを踏まえて自らの考えをまとめ、表現することができる。 c:自らとは異なる考えの根底にある概念や知識に対する理解をしようと努める。	考査 レポート	考査 ディスカッション	振り返りシート 観察
	法的な主体	生活にまつわる身近な法、自由や平等の基礎となる法を学び、法の性質や派生する権利等を理解する。 特に契約については消費者の点から理解を深め、司法の役割を知る。	a:法そのものの理解や法のもつ効力について理解している。 b:法が想定する事象を理解し、身近な法について関心を寄せ、自らの気付きを表現することができる。 c:公共的な空間の大きな枠組みとなる法の体系に関心を寄せ、理解しようとする。	考査 レポート	考査 ディスカッション	振り返りシート 観察
2	政治的な主体	法の成立について、国会と立法の関係を把握し、国内の行政や国際社会での法の取り扱いについて理解を深める。	a:国会と立法を中心に選挙や行政の在り方、国際社会での課題について理解している。 b:政治参加することで起きうる変化について関心を寄せ、あるべき姿ついて話し合うことができる。 c:公民として利害の調整や公共的空間をより良いものにするための考察ができる。	考査 レポート	考査 ディスカッション	振り返りシート 観察
	経済的な主体	労働者の権利や働くということについて考察し、市場経済や金融、財政の働きというマクロ的視点から経済を捉える。	a:経済に関連して、労使関係や日本経済の産業構造、市場経済の仕組みを理解している。 b:市場経済に関連する分野について関心を寄せ、知識を統合し、経済発展について議論することができる。 c:社会の主体者として経済についての視野を広げようとする。	考査 レポート	考査 ディスカッション	振り返りシート 観察

※令和５年度以降入学生用

3	持続可能な社会づくり	持続可能な社会が形成されることで得られる利点やその社会の形成に向けての試行錯誤について学びを深め、どのような実践がされているか考察する。	a:持続可能な社会をめざす過程や到達点における利点や努力が必要な点について理解することができる。 b:持続可能な社会をめざす中で副次的に発生する利点について考察し、論拠をもって発表することができる。 c:地球的規模の課題に対して個人としてどのようにかかわることができるのかを探究する姿勢を示すことができる。	考査 レポート	考査 ディスカッション	振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度